

ココロがある。

ミニディスクロージャー誌

お客さまとともに

平成24年3月期

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)



ココロがある。コタエがある。
西日本シティ銀行

経営理念

理念

西日本シティ銀行は、高い志と誇りを持って
時代の変化に適応し、お客さまとともに成長する
“九州No.1”バンクを目指します。

お客さまに一番近い

お客さまに一番近い銀行として、誠実に対応し、
圧倒的に支持される銀行を目指します。

地域に貢献する

健全経営を基本に、地域に貢献し、積極的に
社会的責任を果たすことで
広く信頼される銀行を目指します。

期待に応える人づくり

あたたかな心とチャレンジ精神を持ち、
自由闊達で積極果敢に行動する
人づくりに努めます。

行動憲章

心がある

私たちは、いつもお客さまの身になって、
丁寧に対応し、真摯にご相談に取り組みます。

情熱がある

私たちは、いつもお客さまの声に、熱く行動し、
チャレンジし、スピーディにお応えします。

夢がある

私たちは、いつもお客さまの
期待をこえた、新しく、価値のある
提案をお届けします。

Contents

ココロがある。SIDE

トップメッセージ	1
中期経営計画「New Stage 2011」元氣よく	2
企業まるごとサポート	4
人生まるごとサポート	6
CSR「地域との共栄」	12

お客さまとともに栄える九州No.1バンクを目指して

取締役頭取 久保田 勇夫

中期経営計画

「New Stage」

2011〜元氣よく〜

開始から1年

この1年のわが国経済を振り返りますと、東日本大震災や原発問題などの影響を大きく受けたものの、サプライチェーンの復旧に伴う企業の生産活動の回復や各種の政策効果などにより、持ち直しの動きが見られました。しかし、

欧州の財政危機を背景とした世界経済の減速懸念や急速な円高の影響、タイの洪水被害による企業業績の悪化懸念などから、持ち直しの動きは緩やかなものとなり、先行き不透明な状況が今なお続いております。

一方、地元九州の経済は、震災後の機能分散の観点から各種生産拠点としての役割が高まるなかで、米国や新興国向けの堅調な輸出などが下支えとなり、底堅く推移しました。特に、福岡県においては九州新幹線鹿児島ルート全線開通や国内最大級の駅内商業施設「JR博多シティ」開業の効果が表れております。

こうした状況のなか、中期経営計画「New Stage 2011〜元氣よく〜」では目指す銀行像を「国内トップレベルのサービスを地元で提供し、お客さまとともに栄える九州No.1バンク」とした上で、お客さまのライフステージから生じる様々なニーズに対しお客さま目線に立つた総合金融サービスをグループ一体となつて提供することとしております。

企業まるごとサポート

人生まるごとサポート

企業と個人のお客さまのライフサイクルの各段階にに応じて最適な総合金融

サービスを提供する「企業まるごとサポート」「人生まるごとサポート」を積極的に展開しております。

最近の主な取組みとしては、お客さまの海外ビジネスの拡大をサポートするため、「国際コンサル室」を当行グループ会社(株)NCBリサーチ&コンサルティングに開設しました。また、九州地銀初のインターネットによる為替予約サービスの開始しました。さらに、保健医療経営大学との共催による医療セミナーのほか、企業ブランド構築、事業承継、農業参入などに関するセミナーや、各種商談会の開催など、様々な分野でお客さまの経営をサポートさせていただき

ました。

個人のお客さまでは、ライフプランに応じて専門スタッフが多数の保険会社の商品の中から最適な商品をご提案する「NCBほけんプラザ・笹丘」を開設いたしました。これにより「NCBほけんプラザ」は3か所となり、保険相談の専門窓口としてお客さまに大変ご好評いただいております。また、土日もローンのご相談をお受けする「NCBローンプ

ラザ・美しが丘」「NCBローンプラザ・古賀」を開設したこと等により、土日祝日や平日15時以降もご利用いただける店舗・専門チャネルは33か所となりました。

引き続きお客さまにとって専門性と利便性の高いサービスの提供に努めてまいります。

地域への貢献

私どもは、地域の繁栄と地方銀行の繁栄は不可分であると考えます。中でも、地域への知的貢献は地域金融機関の重要な役割であると位置付け、地元のお客さまへの質の高い情報提供に加え、次世代を担う青少年の教育支援活動にも積極的に取り組んでおります。今後とも元気で豊かな地域社会づくりに貢献できるよう、役員員一同、層努力してまいります。



西日本シティ銀行が目指す銀行像

国内トップレベルの

サービスを地元で提供し、

お客さまとともに栄える

九州No.1バンク

「国内トップレベルのサービス」

これまで、国際業務やソリューションといった専門的な分野で、地銀初、九州地銀初の先進的な取り組みを行ってきました。今後もしこうした取り組みを継続し、また、全職員がそれぞれの持ち場で高いレベルを追求して、他の地銀との差別化を図ります。

「地元で提供」

地域の繁栄と当行の繁栄は不可分であるとの認識のもと、地元で、地元の立場に立ってサービスを提供し、メガバンク・外資系金融機関との差別化を図ります。

この2つの差別化戦略により、地域との一体的な成長を通じて「お客さまとともに栄える九州No.1バンク」を実現します。

目指す銀行像の実現に向け、
中期経営計画「New Stage 2011 ～元気よく～」が
平成23年4月からスタート。着実な実行を進めています。

中期経営計画の概要

計画期間:2011年4月～2014年3月

目指す銀行像

国内トップレベルのサービスを地元で提供し、お客さまとともに栄える九州No.1バンク

中期経営計画「New Stage 2011 ～元気よく～」

“時代の変化に対応した総合金融サービス業への進化”と“徹底した生産性向上”

西日本シティ銀行

進むべき方向性

「お客さま第一主義」

サービスの専門性向上

サービスの利便性向上

「収益力の強化」

顧客基盤の拡大

グループ総合力の強化

サービス向上と
経営合理化の両立

「地域貢献」

地元のお取引先の育成

元気で環境豊かな
地域社会づくり

主要施策

6つの改革

経営改革

意識・行動改革

サービス改革

オペレーション改革

人事改革

コスト構造改革

機能強化戦略

■システムの共同化移行
■リスク管理の高度化

グループ戦略

■グループ会社のサービス
向上・経営合理化

地域との共栄

■地場産業育成 ■環境配慮 ■知的貢献 ■歴史・文化活動

注力する分野

コーポレート

○事業性融資
○ソリューション
成長分野／国際分野
環境分野／観光分野

リテール

○個人ローン
住宅ローン
消費者ローン
○預り資産

将来の収益基盤づくり

顧客基盤拡大

有価証券運用

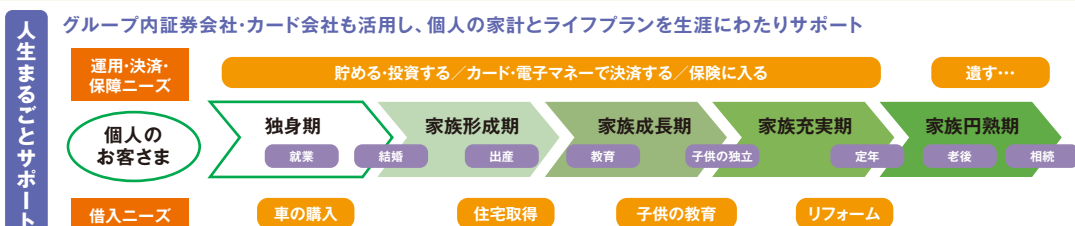
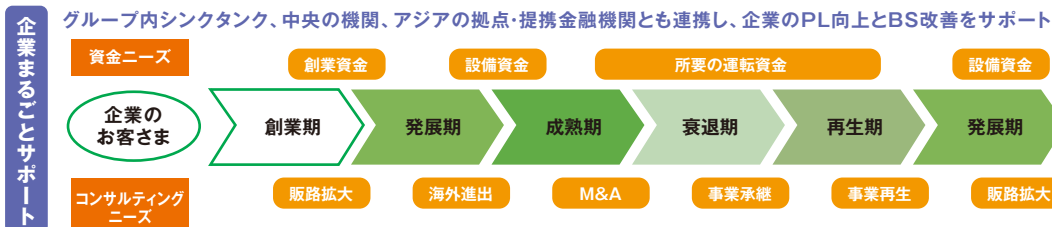
地元のお客さま

計画のコンセプトは、
「時代の変化に対応した『総合金融サービス業』への進化」と「徹底した生産性向上」の2つです。

時代の変化に対応した“総合金融サービス業”への進化

～お客さまのライフステージから生じる様々なニーズに対し、お客さま目線に立った最適なサービスを提供～

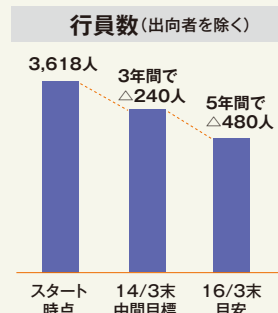
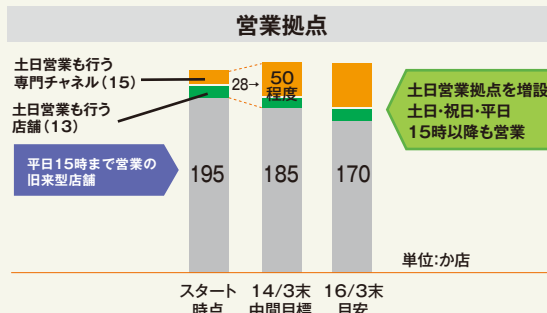
西日本シティ銀行グループ



徹底した生産性向上

～サービス向上と経営合理化の両立により生産性を改善し、強靱な経営基盤を構築～

土日営業拠点を増設しお客さまの利便性を高める一方で、旧来型店舗の統廃合を進め、生産性を向上させます。また、人員の効率化を進め、コスト削減を断行します。



「地域の活性化なくして地銀の将来なし」との認識に立ち、
金融面以外からも地域の発展に貢献します。

- 地場産業育成**
 - 地元企業の成長分野への新規参入を側面から支援します。
- 高齢化の進展により地元企業が直面する事業承継やM&A等に積極的に関与します。**
- 積極的な産官学連携を継続し、「学」の優れた技術・ノウハウを地場産業発展に取り込みます。**
- 環境配慮**
 - 環境負荷軽減に取り組む企業を支援するとともに、当行自身も環境にやさしい業務運営を実践し、環境に配慮した取組みにおいて地銀トップレベルを目指します。
- 知的貢献**
 - 当行及び各界トップによる質の高い講演会や金融知識の普及活動など、地域社会と次世代を担う青少年等への知的貢献を継続します。
- 歴史・文化活動**
 - 地元根付く歴史・文化活動は地方銀行のインフラの一部と位置づけ、当行の特長である歴史・文化活動への取組みを継続し、豊かな地域社会の実現に貢献します。

地元企業の発展のために



平成24年3月、関東エリアを中心に総合スーパ―を展開する大手企業をバイヤーとして招いた商談会を開催いたしました。本商談会は、関東エリア向けの販路拡大支援を目的に企画したもので、九州の金融機関4行のお取引先36社が参加されました。商談会はこの他にも3件開催し、合わせて36社のお取引先の販路拡大を支援いたしました。

また、平成23年10月に開催した『販路開拓セミナー』では、小売業での豊富な経験を持つ講師により、バイヤー目線でのプレゼンテーションのポイントや地域資源を活用した商品開発の成功事例の紹介を行い、商談における成約率の向上等の意欲旺盛なお取引先36社が参加されました。

販路拡大支援

『商談会の開催』

経営支援

『医療セミナーの開催』

平成23年10月から12月にかけて、産学連携の二環として全8回のシリーズで『医療セミナー at 保健医療経営大学』を開催いたしました。このセミナーは医療機関経営を多面的にバックアップすることを目的にしており、医療機関を取り巻く様々な課題の中から『診療報酬・介護報酬改定の動向』『医療と介護の連携』や『病院の経営分析』など7つのテーマを取り上げて情報発信を行い、延べ250名が参加されました。

食品関連支援

『食の安心ポイントセミナーの開催』

食品業界においては安心・安全な製品を消費者にお届けすることがより一層求められている中、平成23年12月に食品業界の経営者や品質管理担当者を対象としたセミナーを開催いたしました。セミナーでは食品業界を取り巻く環境と課題に対し、食品の放射性物質問題の動向・対応や中国食品市場への輸出における留意点、ISO認証等、最新の情報と今後の対応策を紹介し、75名が参加されました。



SCM構築支援

『サプライチェーンマネジメントセミナーの開催』

平成24年2月に開催した本セミナーにおいて、差別化を目的としたサプライチェーンの業務効率を高める企業戦略の手法や、東日本大震災・タイ大洪水を踏まえたBCP（事業継続計画）のあり方について事例を踏まえた紹介を行いました。当日は、企業の経営者・役員・企画部門担当者等を中心に89名が参加されました。



九州の元気を
応援しています



「志・情熱企業」

～中小企業応援テレビ番組～

技術力やノウハウ等を持つ特徴ある地元企業を紹介するテレビ番組を毎週土曜日に放映中です。
当番組で紹介した企業は200社を超えました。

当行ホームページ(<http://www.ncbank.co.jp>)からも番組内容をご覧いただけます。

地元企業の海外ビジネスを支援しています

海外ネットワークを駆使した 海外ビジネスサポート

「アジアの成長をいかにビジネスの拡大につなげるか」というお客さまの課題解決ニーズに的確にお応えできる、ハイレベルな海外ビジネスサポートを実現するため、平成24年4月、当行グループ会社であるNCBリサーチ&コンサルティングに「国際コンサル室」を開設し、支援態勢を強化しました。

「国際コンサル室」には中国とASEANの最新事情に精通した人材2名を配置し、当行の海外駐在員事務所や提携金融機関、海外の法律事務所やコンサルティング会社、会計事務所など海外ビジネスに関するエキスパートとの連携により、地域金融機関の金融サポートの枠を超えた、きめ細かなコンシェルジュ的ソリューションを提供いたします。

「国際コンサル室」では、①海外進出に関わる各種相談、②海外企業との取引に関する各種相談、③海外の市場・商品等の情報提供・調査活動等、海外ビジネスに関する情報提供、コンサルティングといった業務を行っております。

海外ビジネスに関するご相談は、
下記までお問い合わせください。

(NCBリサーチ&コンサルティングへのお取次ぎもいたします。)

 **西日本シティ銀行**
グローバルビジネス・
サポートセンター

TEL 092-476-2560

【受付日】月～金曜日 祝日・銀行休業日は除きます。
【受付時間】9:00～17:00

アジアのインフラ開発支援のため 国際プロジェクトに参画

ベトナム民間企業の水力発電所建設プロジェクト向け協調融資(※)に地方銀行として初めて参画しました。(※他の参加行・BNPパリバ銀行(エージェンツ)・あおぞら銀行 静岡銀行)

本融資は、当行と平成20年12月から業務協力協定を締結し、現地で数多くの案件を手がけるBNPパリバ銀行ホーチミン支店との連携で実現した、当行の海外ネットワークを活用した新たな取組みです。また、元利金の償還をベトナム政府が100%保証するほか、独立行政法人日本貿易保険の貿易保険付保により、非常危険・信用危険のリスクを軽減しています。

当行は、今後も、海外ネットワークの有効活用や中央機関・行政などとの二層の連携を通じ、地元企業の海外進出支援のみならず、地元企業が海外に進出するにあたって必要となるインフラ構築の支援にも取り組んでまいります。



中国銀行(BANK OF CHINA)に トレイニーを派遣―中国大連市へ―

当行は、10年以上にわたって継続している中国銀行との業務協力協定を活用し、地元企業の中国ビジネスを支援しています。

平成23年2月の中国銀行上海支店へのトレイニー2名派遣に続き、平成24年2月より中国東北部の中でも特に目覚ましい経済的發展を遂げている中国大連市にある同行の支店へトレイニー1名を派遣し、お客さまの海外進出を確実にサポートできる人材の育成に努めています。

「中国セミナー」の開催

平成23年12月、中国銀行(BANK OF CHINA)との共催で、引続き注目度の高い中国の最新経済動向についての『中国セミナー』を開催しました。

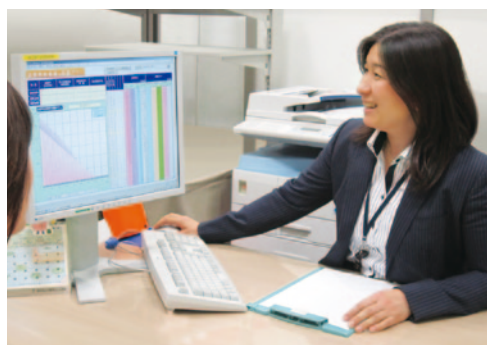
第一部の基調講演では、復旦大学経済学院教授で、上海市人民政府に対して様々な提言を行う諮問機関の委員を務める陳建安氏をお招きし、混迷する世界経済の下での中国経済の現状と行方について講演を頂きました。第二部はパネルディスカッションの形式で、九州大学大学院の平松教授をモデレーターに、中国で実際にビジネスを展開している九州企業の経営者の方々から、中小企業のビジネスチャンスに役立つ情報・ヒントを提供しました。





**専門スタッフによる
ライフプランサポート**

お客さまのライフステージから生じる様々なお金に関するニーズに対し、
お客さまの目線に立った最適なサービス提供を行うため、各営業店や
専門拠点に専門スタッフを配置しています。



天神西通りの「西日本シティ銀行大名支店ビル」に専門拠点が集結

4F NCB ほけんプラザ

将来必要な資金に備える生命保険。
ご結婚やご自宅購入などライフイベ
ントに応じて見直しが必要です。専門
スタッフがお客さまのお悩みや疑問に
親身にお応えいたします。

TEL 0120-144-880

4F NCB α 天神

資産運用のご相談にはお客さまのラ
イフプランに合わせて専門のスタッ
フがご提案いたします。無料セミナーも
実施しています。

TEL 092-771-9002

4F 年金相談所

年金の疑問・不安については、年金の
専門家(社会保険労務士)がお客さま
のご質問にわかりやすくお応えいた
します。

〈予約専用ダイヤル〉
TEL 0120-246-537

6F ローン営業室

マイホームやお車のご購入、お子さま
の教育資金のご相談については、専
門スタッフが適切なプランをご提案い
たします。

TEL 092-734-9190



大名支店ビルは、西通りの西日本シティ銀行が目印、
西鉄福岡天神駅より徒歩5分!

「住宅ローン」に「生命保険」、
「資産運用」に「年金のお受取」ま
で、お金についての様々な疑問やお
悩みは西日本シティの西通り大
名支店ビルで解決。
土日、平日15時以降も営業し
ていますので、お気軽にご来店く
ださい。

資産運用専門スタッフ 「マネーアドバイザー」

”お客さまのこれから”をオーダーメイド

お客さまが描かれる”これから”のために、私たちにできること。

私たちは、お客さまひとりひとりのライフプランに関する様々なニーズにお応えできるよう、お客さまごとにオーダーメイドのプランをご提案し、その実現のお役に立ちたいと考えています。

当行では、各店にマネーアドバイザーやエリアを担当するチーフマネーアドバイザーを配置し、金融資産全般に関する具体的運用のアドバイスやご提案をしています。

また、お客さまの相続、事業承継等のより幅広いご相談には、高度な専門知識を持つプライベートバンカーが、各店の担当者と共にライフプランに合わせたご提案をしています。



「NCBほけんプラザ」

銀行で「ほけん」の話、しませんか？

将来の安心のために、一度はきちんと考えておきたい生命保険。「現在加入中の保険の内容は？」「保障額は十分？」「保険料を見直したい」など、様々な疑問やお悩みを抱えている方も多いのではないのでしょうか？

西日本シティ銀行の保険の専門窓口「NCBほけんプラザ」では、お客さまのライフプランに応じた必要な保障を無料でアドバイスし、複数の保険会社から最適な商品を選んでご提案いたします。平日はもちろん、土日・祝日も営業いたしております。

きつと何かしらの発見ができると思います。ご家族でお気軽にお立ち寄りください。



NCBほけんプラザ・笹丘 平成24年1月13日オープン
福岡市中央区笹丘1-28-74
[田島支店内]
お問合せ ☎ 0120-116-731

NCBほけんプラザ・天神 福岡市中央区天神2-5-28
[NCBアルファ天神出張所内]
お問合せ ☎ 0120-144-880

NCBほけんプラザ・宗像 宗像市くりえいと1-5-1
[赤間支店内]
お問合せ ☎ 0120-172-178

営業時間 ◎平日/10:00~19:00 休日/10:00~17:00
※ただし、12月31日~1月3日、5月3日~5月5日は除きます。

西日本シティT T証券

お客さまの資産運用ニーズに
きめ細かくお応えします。

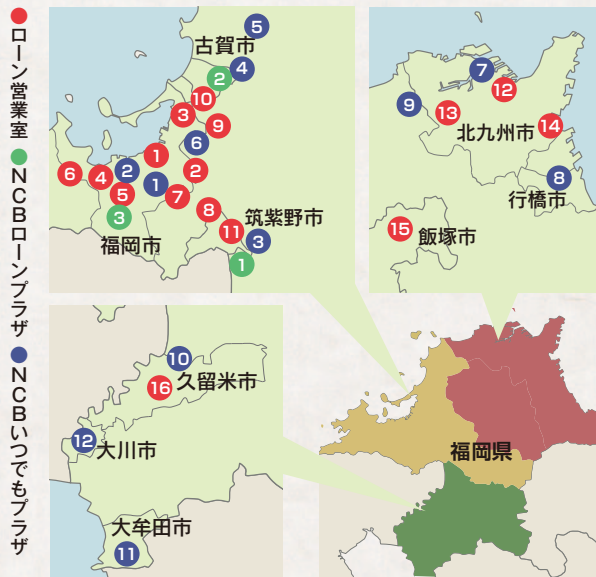
西日本シティT T証券は、西日本シティ銀行と東海東京フィナンシャルホールディングスの共同出資による九州初の地銀の証券子会社。平成22年5月に開業してから、おかげさまで2周年を迎えることができました。

現在、西日本シティ銀行の営業店内に共同店舗として計6か店開設しており、福岡県内一円をカバーできる体制となっています。

従来、銀行ではお取扱いできなかった商品等も、多数揃っております。これからも、地域のお客さまの近くで、お客さまのイチバンを考える、そんな「証券会社」を目指してまいります。



土日もご相談いただけます



週末もローンの相談にお越しください
「ローン営業室・NCBローンプラザ」
「NCBいつでもプラザ」

「土日にくつくりローンの相談がしたいな。」
 様々な生活スタイルのお客さまに土日曜日も気軽に相談いただける窓口を福岡県下29か所に設置しています。(ローン福岡営業室及びNCBローンプラザ・原を除く)

ご自宅の新築・ご購入・返済中の住宅ローンのお借換などの住宅に関するローンをはじめ、お車のご購入やお子さまの教育資金に関するローンなどお気軽にご相談ください。

専門のスタッフが皆さまのお越しをお待ちしております。

なお、「NCBいつでもプラザ」ならローンの相談だけでなく、預金をはじめ資産運用の相談も承っております。(※営業時間、営業日については下表をご覧ください。)

ローン営業室 ローンをご相談いただける専門拠点です。

- | | | |
|-----------------------|--------------------------|---------------------------|
| ① ローン天神営業室 (大名支店ビル6F) | ⑦ ローン福岡南営業室 (老司支店内) | ⑬ ローン北九州西営業室 (折尾支店2F) |
| ② ローン福岡営業室 (福岡支店内) | ⑧ ローン春日営業室 (春日出張所内) | ⑭ ローン北九州東営業室 (下曽根駅前出張所内) |
| ③ ローン香椎営業室 (千早支店内) | ⑨ ローン粕屋営業室 (粕屋支店2F) | ⑮ ローン飯塚営業室 (穂波支店内) |
| ④ ローン姪浜営業室 (姪浜駅前支店3F) | ⑩ ローン新宮営業室 (新宮支店2F) | ⑯ ローン久留米営業室 (久留米センター出張所内) |
| ⑤ ローン西新営業室 (西新中央支店内) | ⑪ ローン二日市営業室 (西鉄二日市駅前支店内) | |
| ⑥ ローン前原営業室 (前原支店2F) | ⑫ ローン北九州営業室 (小倉支店内) | |

【営業時間等】平日9:00～17:00 土日10:00～17:00 / 休業日…12/31～1/3、5/3～5/5、祝日 (但し祝日が土・日曜日の場合は営業)、振替休日※ローン福岡営業室…土日・祝日は休業

NCBローンプラザ お客さまのご自宅近くのローン専門相談窓口です。

- ① NCBローンプラザ・美しが丘 (美しが丘出張所内) ② NCBローンプラザ・古賀 (イオンスーパーセンター古賀店出張所内) ③ NCBローンプラザ・原 (原支店内)

【営業時間等】美しが丘 平日9:00～17:00 土・日曜日10:00～18:00 古賀 平日10:00～18:00 土・日曜日10:00～17:00 原 平日9:00～17:00
 休業日…12/31～1/3、5/3～5/5、祝日 (但し祝日が土・日曜日の場合は営業)、振替休日 ※NCBローンプラザ・原…土日・祝日は休業

NCBいつでもプラザ ショッピングセンターにある、土日・祝日、平日15時以降もご相談・お申し込みができる窓口です。

- | | | |
|----------------------|-----------------------|---------------|
| ① 田島支店 (ダイエー笹丘店内) | ⑤ 赤間支店 (サンリブくりえいと宗像内) | ⑨ ゆめタウン遠賀出張所 |
| ② ショッピングモールマリナタウン出張所 | ⑥ イオン福岡東出張所 | ⑩ ゆめタウン久留米出張所 |
| ③ ゆめタウン筑紫野出張所 | ⑦ イオン戸畑出張所 | ⑪ ゆめタウン大牟田出張所 |
| ④ イオンスーパーセンター古賀店出張所 | ⑧ ゆめタウン行橋出張所 | ⑫ ゆめタウン大川出張所 |

【営業時間等】平日10:00～20:00 土日・祝日10:00～17:00 / 休業日…12/31～1/3、5/3～5/5、ショッピングセンター店休日
 ※田島支店、赤間支店…平日は9:00より ゆめタウン遠賀出張所…平日は18:00まで



ローンコールデスク

ナイス クイック 【受付時間】平日9:00～20:00 土・日曜日10:00～17:00
 ☎0120-714-919 【休業日】12/31～1/3、5/3～5/5、祝日・振替休日

「ローンコールデスク」はローンのお問い合わせ、ご相談、お申込み等を専門に受け付ける電話窓口です。

これまで平日のみの営業としていましたが、平成23年5月より土日にも拡大しました。

窓口へお越しになる機会の少ないお客さまやローン商品に関するお問い合わせ、ご相談など、お気軽にお電話ください。

専門のオペレーターが皆さまのお電話をお待ちしております。

お電話での相談もおまかせください
「ローンコールデスク」

便利にご利用いただけます

土・日もご相談OK！
ATMからでもお申込みOK！
「NCB キャッシュユエース」

当行でお取扱しております「NCB キャッシュユエース」は、様々な方法でお申込みいただけます。

土・日のご相談窓口である「ローン営業室・NCB ローンプラザ」「NCB いつでもプラザ」でのお申込みはもちろん、電話やインターネット、お近くのATMからもお申込みいただけます。

また、郵送でのお申込みも可能となっており、お忙しくご来店いただけないお客さまからも、大変ご好評いただいております。（当行に普通預金口座をお持ちでカードローン契約のない方のみ）

年会費・入会金はもちろん無料、専業主婦やパート・アルバイトの方もお気軽にお申込みいただける「NCB キャッシュユエース」は、急な出費が必要なおときに役立ていただける、大変便利なローンとなっています。



インターネットバンキングサービスが
ますますグレードアップ！
「NCB ダイレクト」

『仕事や家事で忙しくて、銀行に行く時間がない！』そんなお客さまにご利用いただきたいのがダイレクトバンキングサービス「NCB ダイレクト」。

なかでも、インターネットバンキングなら、残高のご確認やネットショッピングの決済、お届け住所の変更が自宅パソコンの『カンタン操作』でお取引でき、とっても便利です。

さらに、当行本支店間のお振込みや住宅ローンの金利変更・繰上返済も『手数料無料』でお取引できて、とてもおトクです。

また、通帳を発行しないWeb口座「ネットスタイル」や投資信託の各種報告書を電子化し、ネット上で閲覧ができる「Ne投プレミアム」の取扱いをしています。是非一度お試しください。

（注）ご利用には事前のお申込みが必要です。個人のお客さまでも事業性のお取引についてのご利用はできません。



ATM時間外利用手数料がおトクに
「オールインワンカード」

「キャッシュカード・クレジットカード・ローンカード」の3つの機能が1つになった「オールインワンカード」。

お手持ちのキャッシュカードからお切替いただくことで、西日本シティ銀行ATMおよび提携コンビニATM（注1）の時間外利用手数料が、1年間無料となります。2年目以降もNCBポイントサービスのお取引ポイントに応じてATM時間外利用手数料がおトクになります。（ステージ2の場合…平日のみ無料・ステージ3の場合…いつでも無料）

気になる年会費も、初年度は無料（注2）となっています。2年目以降も携帯電話、もしくは電気料金をオールインワンのクレジットカード機能で決済いただくか、クレジットカードを年間10万円以上ご利用いただければ、無料（注2）となっています。

（注1）提携コンビニATMについては下欄の「便利なATMサービス」をご覧ください。
（注2）ゴールドカードは除きます。



ご利用いただける
コンビニATMが増えました
「便利なATMサービス」

平成24年5月21日より、セブン銀行とのATM利用提携を開始しました。今回の提携により、当行のキャッシュカードをお持ちのお客さまは、全国のローソンATM、福岡県内の一部のファミリーマートATMに加え、全国のセブンイレブン、イトーヨーカドー等に設置されているセブン銀行ATMがご利用いただけるようになりました。

ご利用時間は、お客さまの様々なライフスタイルに対応するため、平日は24時間、土日祝日も21時までご利用いただけるようにしています。

なお、各ATMの設置場所・営業時間につきましては、当行ホームページ「店舗・ATMナビ」をご参照ください。

（注）設置場所により、ATMの営業時間・サービス内容が異なりますので、あらかじめご了承ください。



安心に向けて取り組んでいます

金融犯罪にご注意ください！

銀行員や警察官を装い「キャッシュカードが偽造されている。」「あなたの口座が犯罪に利用されている。」などとお客さまの不安を煽って、言葉巧みに暗証番号を聞き出し、キャッシュカードを騙し取って出金する犯罪が発生しています。

当行行員や警察官が、電話や店舗外で暗証番号をお尋ねしたり、キャッシュカードをお預かりすることはありません。

したがって、外部からの照会に対して暗証番号を回答したり、キャッシュカードを渡すことのないよう十分ご注意ください。

反社会的勢力への対応について

当行は、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力との関係遮断に向けた取り組みを行っています。政府が策定した「企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針」（平成19年6月19日犯罪対策閣僚会議幹事会申合せ）等を踏まえて、融資取引の約定書や普通預金規定等の各種規定を改定し、暴力団等の反社会的勢力を排除する条項（「暴力団排除条項」）を導入しています。

「金融犯罪被害に関する相談窓口」 ☎ 0120-797-919へ 【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日および銀行休業日は除きます）

金融円滑化への取組み

当行は、平成21年12月に施行された「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」（中小企業金融円滑化法）の趣旨を踏まえ、中小企業のお客さまの事業活動の円滑な遂行、ならびに住宅ローンご利用のお客さまの生活の安定を目的として、金融円滑化に取り組んでおります。

今後につきましても、当行が持つ情報機能やネットワーク、ソリューション支援専門スタッフ等を活用したお客さまへのコンサルティング機能（経営相談・経営支援・営業支援等）を積極的に発揮することにより、お客さまの主体的な経営改善、事業再生等への取組みをお客さまの立場に立って真摯にサポートし、金融機関としての社会的責任を果たしてまいります。

金融円滑化相談窓口

最寄りの窓口でお気軽にご相談いただけるよう、すべての営業店のご融資窓口及びビジネスサポートセンター、ローン営業室においてご相談・お申込みを承っております。

苦情等のご相談窓口

当行は、お客さまからのご意見や苦情には真摯な姿勢で公正・迅速に対応するとともに、お客さまのご理解と信頼を得られるよう努めております。

当行に対するご意見・苦情は、営業店または次のお問い合わせ窓口までお申し出ください。

西日本シティ銀行お客様サービス室

☎ 0120-162-105

または

FAX 092-461-1916 (24時間)

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日および銀行休業日は除きます）

西日本シティ銀行の本支店窓口

金融ADR制度について

平成22年10月1日より金融ADR制度が開始されました。

金融ADR制度とは、金融分野における裁判外紛争解決手続（※）のことで、お客さまが、金融機関との間で十分に話し合いをしても問題の解決がつかないような場合に活用いただける制度です。国の指定を受けて中立性を確保した指定紛争解決機関が、お客さまや金融機関からの申出を受け、苦情やトラブルの解決を図ります。

当行は、「一般社団法人全国銀行協会」と「一般社団法人信託協会」との間で、紛争解決等業務に関する「手続実施基本契約」を締結しています。

（※）裁判外紛争解決手続（Alternative Dispute Resolution）とは、身の回りで起こるトラブルを、裁判ではなく中立・公正な第三者に関わってもらいながら柔軟な解決を図る手続です。

全国銀行協会 相談室
TEL 0570-017109

または
TEL 03-5252-3772

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00
（祝日および銀行休業日は除きます）

信託協会 信託相談所
☎ 0120-817335

または
TEL 03-3241-7335

【受付時間】月～金曜日9:00～17:15
（祝日および銀行休業日は除きます）

新しい店舗に「ユニバーサルデザイン・バリアフリー設備」 「エコ設備」を積極的に取り入れています



■若松支店



■徳力支店

当行の新しい店舗は、全てのお客様にご利用いただきやすい「ユニバーサルデザイン・バリアフリー設備」（自動ドア、段差のない出入り口、点字ブロック、多目的トイレ、エレベーター、座ったまま利用できる記帳台など）や、地球環境に配慮した「エコ設備」（太陽光発電システム、LED照明、エコガラス、雨水再利用など）を積極的に取り入れています。

こうした設備を取り入れて、平成23年度は南小倉支店、篠栗支店、徳力支店の3か店、今年4月には若松支店の新築建替を実施いたしました。今後も地域の皆様に親しまれる店舗づくりに取り組んでまいります。

【新店舗の主な機能】

エコ設備				ユニバーサルデザイン・バリアフリー設備					
太陽光発電	LED照明	エコガラス	雨水再利用	自動ドア	段差のない出入口	点字ブロック	多目的トイレ	エレベーター	座ったまま利用できる記帳台



3

その他、窓口振込手数料の優遇や代筆・代読のご対応を実施しております。詳しくは、お気軽に取引店窓口にお問い合わせください。

2

点字文書の無料郵送サービス

取引店窓口へ直接又は電話でのお申込みにより、左記の取引明細等を点字で作成し、ご自宅宛に送付するサービスを実施しています。

※対象取引…普通預金・貯蓄預金取引明細の通知（1ヵ月単位で送付）定期預金満期の通知（満期日到来の都度送付）

1

視覚障がい者対応（受話器型操作機付）ATMの増設

全ての営業店に1台以上の設置が完了し、店外ATMコーナーと併せ581台となりました。（平成24年3月末現在、今後も順次増設を行い、一層の利便性向上に努めてまいります。）



※視覚障がい者対応ATM
原則各ATMコーナーの左端に設置しています

視覚障がいをお持ちの お客さまに配慮した取組み

当行では、視覚障がいをお持ちのお客さまにも安心して取引いただけるよう、以下のような取組みを行っております。



子ども達に芸術性の高い音楽を届けています

NCBファミリーコンサート 「子どもたちのためのオペラとコーラス」開催

このコンサートは、感受性豊かな子ども達に“音楽がもつ不思議で力強い感動”をお届けしようと企画したもので、第1部は、子ども向けオペラ「泣いた赤鬼」。第2部は、当行コーラスサークル「NCBコールアカデミア」による「ふるさとの歌・みんなの歌」のプログラムで平成24年3月に開催しました。

当日の公演に、一般市民約800名をコンサートに無料で招待しました。



クイズで楽しく金融経済を学んでもらう 「エコノミクス甲子園」九州大会開催

自らで判断する「自己責任能力」が重要視される昨今、金融経済においても若者への「金融知力」の普及がますます必要とされています。

社会に出る直前の高校生に、金融経済の知識に触れ、楽しみながら金融知力を身につけてもらうことを目的とし、平成23年12月、第6回全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」九州大会を開催しました。大会本番では九州各地から参加した多数の高校生達が熱戦を繰り広げました。

地域のみなさまの“学び”をお手伝い



経済情報をお届けします

新春講演会

時々刻々と社会が変化中、経済・金融についての情報をタイムリーにお届けする機会として、地域の皆さまをお招きし、平成24年1月に新春講演会を開催しました。

「2012年経済・金融の見通し～世界、日本、そして九州～」と題し、最新の経済金融情報をお伝えしました。

今後も皆さまのお役に立つ情報を提供する機会を設けていきます。



地域の歴史や文化を取り上げて、
わかりやすく紹介します

「九州流」「博多に強くなろう」 「北九州に強くなろう」

地域の活性化に貢献したいとの思いを込め、2種類の広報誌を発行しています。「九州流」は、九州の歴史・文化・アジアとの交流をテーマに、国際レベルの視点から地域の情報を掘り起こして発信する“ふるさと発見誌”として、平成21年に創刊しました。「博多に強くなろう」「北九州に強くなろう」は、地元の身近な話題やゆかりの人物等を取り上げてわかりやすく紹介する刊行物として、昭和54年より発行しています。現在96号に至りました。

アジアとの絆を深め、
実りある国際交流を
支援しています

公益財団法人 西日本国際財団

アジア諸国を中心とした国際交流を推進することにより、国際相互理解の促進及び国際的人材の育成をはかり、国際親善の推進に寄与することを目的として、様々な事業活動を行っています。

また、九州・沖縄・山口地域を対象に、草の根活動を通じてアジアの発展及びアジアとの国際交流に貢献した団体・個人を表彰する「アジア貢献賞」、国際相互理解と国際友好親善の促進に貢献している小学校・中学校及び地域の子ども団体を表彰する「アジアKids大賞」を設け、実りある国際交流を支援しています。



皆さまに愛され続け
お昼休みのミニコンサートは
300回を超えました

公益財団法人 福岡文化財団

毎月1回、本店エントランスホールで開催する「プロムナードコンサート」。26年間皆さまに愛され続け、平成24年5月で317回を迎えました。

また、福岡市内の小学校で本物のクラシック音楽演奏や大道芸パフォーマンスを披露する「ふれあいライブ」は、子ども達に大変喜ばれています。クラシックをもっと身近に、そして子ども達にとつて楽しい時間になるように、ひとつひとつのライブをていねいに企画しています。他にも、美術、音楽、演劇等芸術を通して、文化の向上を図り、より豊かな地域社会づくりに貢献する活動を行っています。



地域の優れた経営者を
表彰しています

公益財団法人 経営者顕彰財団

九州・山口地域において、地域経済の発展や産業の開発に優れた実績をあげられた中堅・中小企業の経営者の方々を毎年表彰し、「経営者賞」を授与しています。昭和47年の財団設立以来、表彰は39回を数え、受賞者は147名となりました。受賞者が経営する企業のうち、上場または店頭公開を果たされる企業も多数あります。「経営者賞」が経営者の方々の励みとなり、地域経済の発展に少しでも寄与できれば幸いです。



東日本大震災
緊急募金の取扱い

当行では、全店の窓口で「西日本シティ銀行ユニセフ東日本大震災緊急募金」の受付を平成23年3月から開始し、平成24年5月31日までにお振込みいただいた募金は、68,289,062円となりました。

多くの皆さまからの善意をいただき、本当にありがとうございました。引き続き募金を受付けておりますのでご協力をよろしくお願いします。
(寄付先：公益財団法人日本ユニセフ協会)



コタエがある。

ミニディスクロージャー誌

業 績 ・ 財 務 デ ー タ

平成24年3月期

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)



ココロがある。コタエがある。
西日本シティ銀行



Contents

コタエがある。SIDE

店舗網・海外ネットワークのご案内	1
平成24年3月期業績ハイライト	2
株式の状況	5
平成24年3月期財務諸表	6

プロフィール

商号	株式会社西日本シティ銀行
設立	昭和19年12月1日
本店所在地	福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号
資本金	857億円
店舗数	206か店
従業員数	3,782名
総資産	7兆3,972億円
預金・譲渡性預金残高	6兆4,615億円
貸出金残高	5兆1,779億円
(平成24年3月31日現在)	

※計数につきましては、原則として単位未満を切り捨てて表示しております。

平成24年6月発行 株式会社 西日本シティ銀行 広報文化部 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号 TEL 092-476-1111(代表) ホームページ ▼<http://www.ncbank.co.jp>



●店舗数 206か店

●海外駐在員事務所 3か所

ATM／1,387台

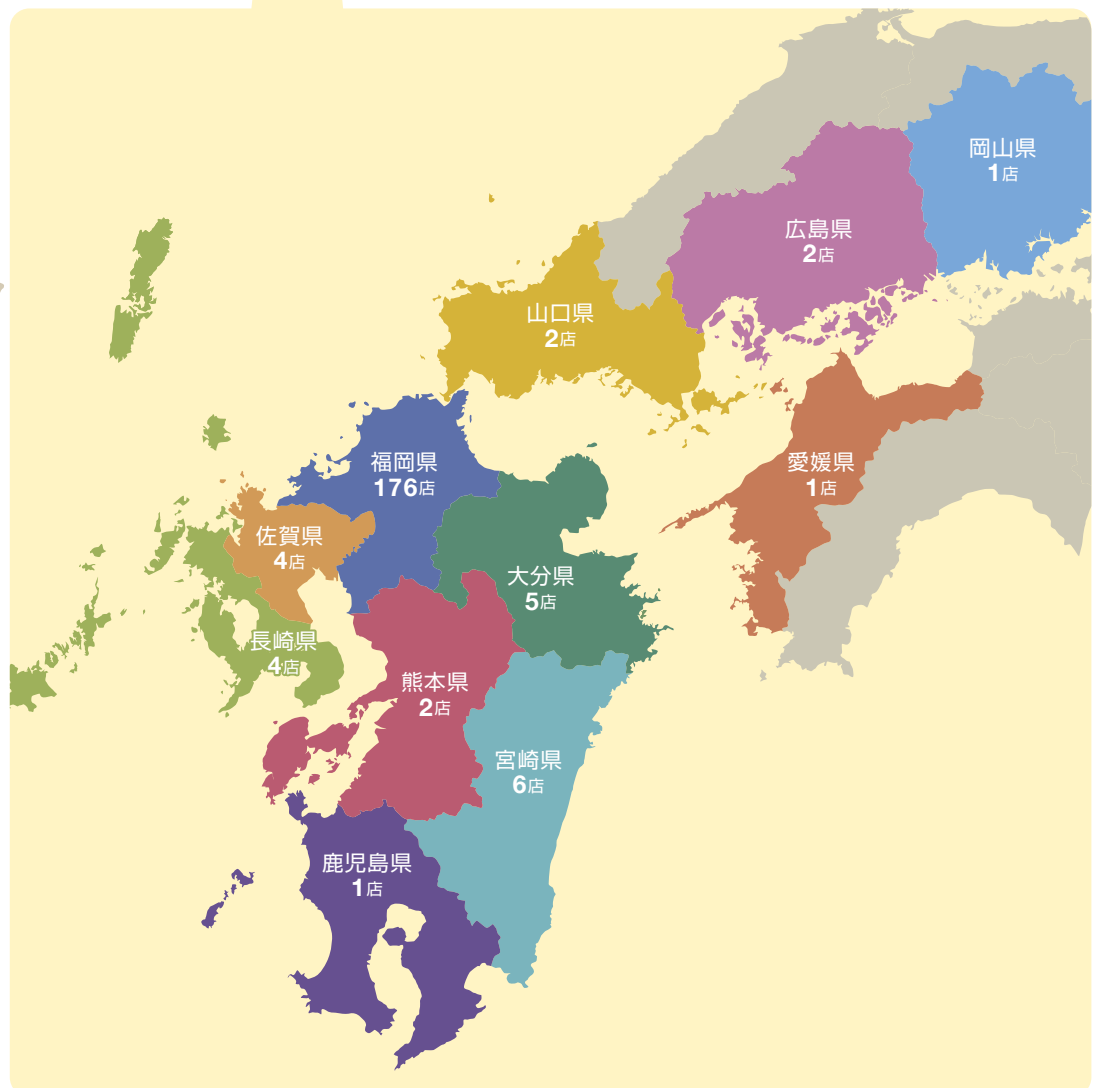
店内929台

店外458台

※コンビニATM除く

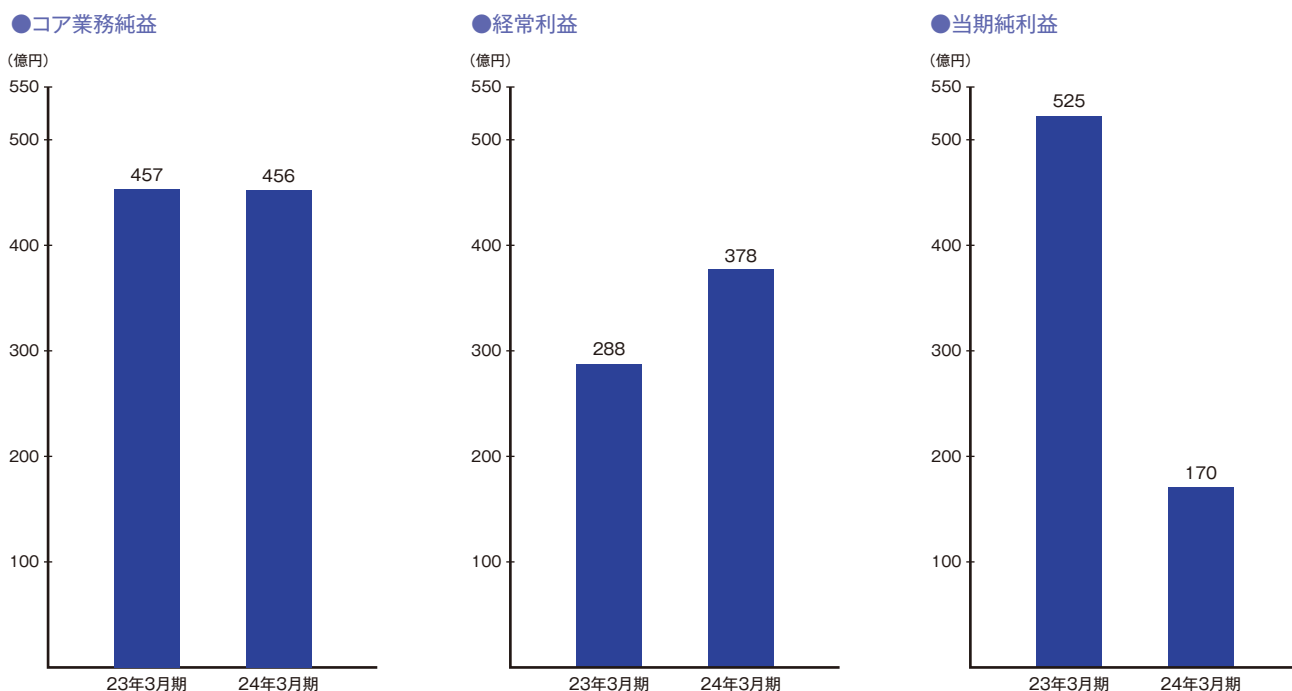
提携金融機関

- りそなブルダニア銀行 (インドネシア) 平成8年提携
- 中国銀行(中国) 平成13年提携
- 国際協力銀行(日本) 平成13年提携
- 新韓銀行(韓国) 平成19年提携
- OCB(ベトナム) 平成20年提携
- BNP パリバ(ベトナム) 平成20年提携
- バンコック銀行(タイ) 平成21年提携



損益の状況(単体)

貸出金等の運用利回りの低下により資金利益が減少しましたが、経費の削減等により、平成24年3月期のコア業務純益は456億円、経常利益は378億円となりました。また、平成23年3月期の利益を押し上げていた子会社解散要因(350億円)が剥落したことから、当期純利益は170億円となりました。



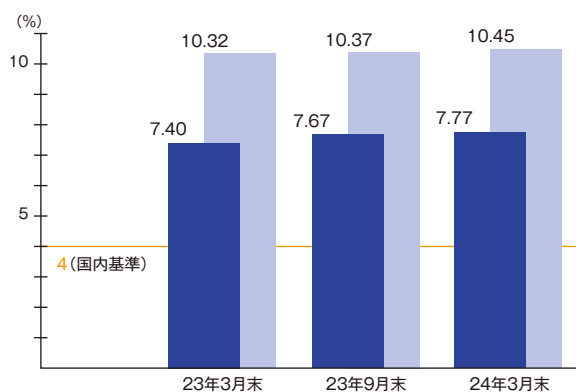
自己資本比率の状況

平成24年3月末の自己資本比率は、単体で10.45%、連結で10.67%となりました。また、中核的自己資本であるTierI比率は、単体で7.77%、連結で7.81%となりました。今後も資本の充実を図り、自己資本比率の向上に努めてまいります。

●自己資本比率・TierI比率

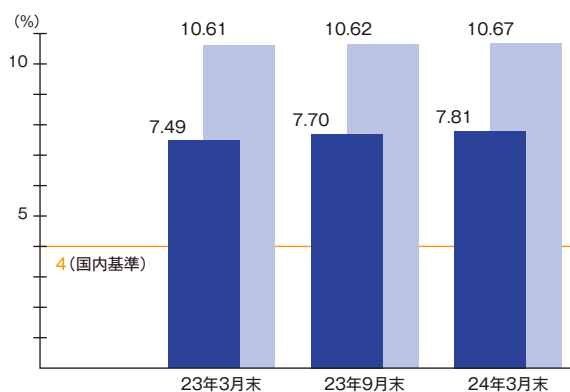
[単体]

■自己資本比率
■うちTierI比率



[連結]

■自己資本比率
■うちTierI比率



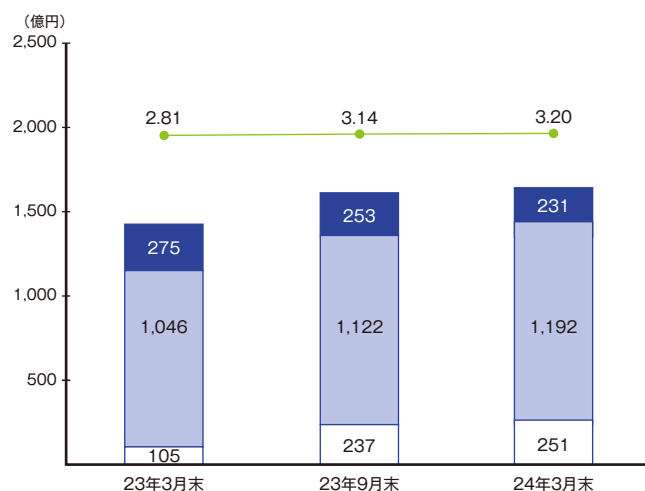
不良債権の状況(単体)

平成24年3月末の金融再生法に基づく開示債権の残高は、資産の自己査定基準に基づき、償却・引当を実施した結果、平成23年3月末比247億円増加し1,675億円、開示債権比率は、3.20%となりました。

(注)平成23年3月末には、当第1四半期中に清算した分割子会社の計数を含んでおります。

●不良債権比率

■破産更生債権及びこれらに準ずる債権 ■危険債権 ■要管理債権 ●金融再生法開示債権比率(%)



用語説明

コア業務純益

預貸金業務などによる“資金利益”や投資信託等の販売手数料などの“役務取引等利益”などを含む“業務粗利益”から“経費”を差し引いたもので、銀行本来業務の収益力を表す指標として一般的に用いられています。

$$\text{コア業務純益} = \text{業務粗利益 (除く国債等債券損益)} - \text{経費}$$

自己資本比率

銀行の健全性を示す指標のひとつです。
国内基準で4%以上を維持することが求められています。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本 (資本金など)}}{\text{リスク度合を考慮した資産}}$$

TierI比率

自己資本のうち資本金・資本剰余金・利益剰余金などの基本的項目をもとに算出される自己資本比率です。

用語説明 ～金融再生法による開示債権の定義～

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産・会社更生・再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権

危険債権

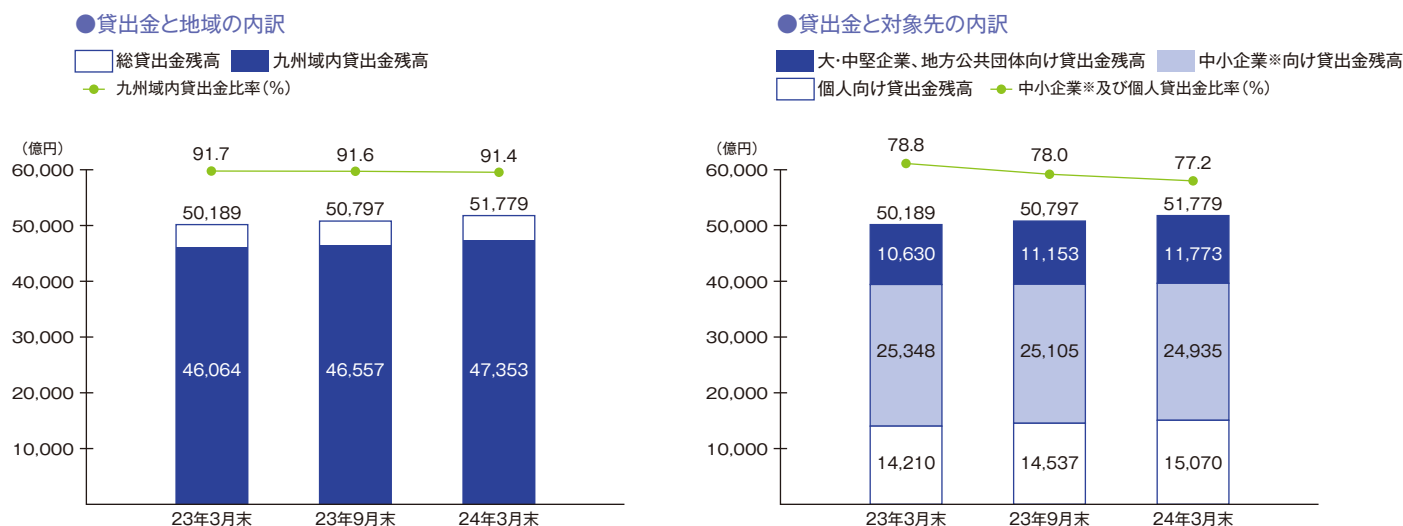
債務者が、経営破綻の状態には至っていないものの、財政状態・経営成績が悪化し、契約通りの返済を受けることができなくなる可能性の高い債権

要管理債権

3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権

貸出金の状況

平成24年3月末の総貸出金のうち、九州域内での貸出金の比率が91.4%、また、中小企業※及び個人への貸出金の比率が77.2%と九州の特に中小企業・個人のお客さまを中心とした様々な資金ニーズにお応えしております。

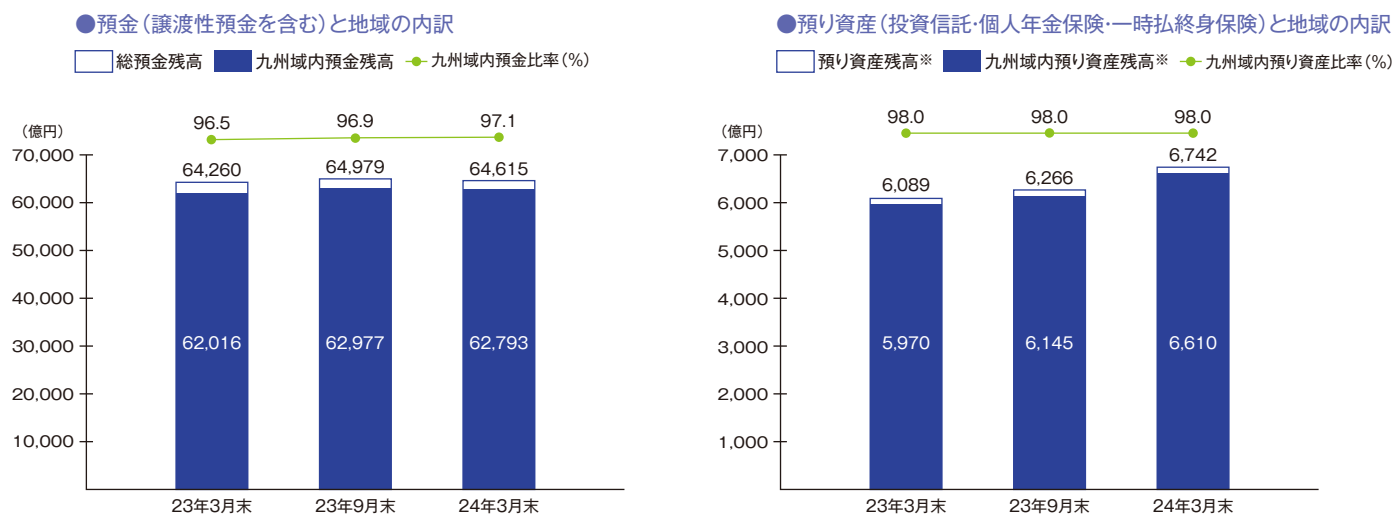


※中小企業…資本金3億円(ただし、卸売業は1億円、小売業、サービス業は5千万円)以下の会社または常用する従業員が300人(ただし、卸売業は100人、小売業は50人、サービス業は100人)以下の会社及び個人事業主

(注)平成23年3月末までは当中間期中に清算した分割子会社(NCBターンアラウンド株式会社)の計数を含めております。

預金・預り資産の状況

平成24年3月末の譲渡性預金を含む預金残高のうち、九州域内での預金の比率が97.1%、預り資産(投資信託・個人年金保険・一時払終身保険)のうち九州域内での預り資産の比率が98.0%となっており、九州地域の皆さまから多くのご資産をお預りするとともに、皆さまの多様なニーズにお応えするため、商品・サービスの充実を図っております。



※預り資産残高=投資信託残高+保険商品販売累計額(個人年金保険販売累計額+一時払終身保険販売累計額)

株式の状況

発行可能株式総数 1,500,000,000株

平成24年3月31日の発行済株式の総数 796,732,552株

平成24年3月31日の株主数 21,376名

大株主

(平成24年3月31日現在)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	98,214	12.32
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	46,186	5.79
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	32,412	4.06
日本生命保険相互会社	20,477	2.57
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	15,492	1.94
株式会社みずほコーポレート銀行	11,507	1.44
東京海上日動火災保険株式会社	11,280	1.41
株式会社りそな銀行	11,000	1.38
明治安田生命保険相互会社	10,945	1.37
株式会社三井住友銀行	10,748	1.34

(注)1.所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。2.持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

株式のご案内

- 1. 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。
- 2. 定時株主総会** 6月に開催いたします。
- 3. 配当金の
お支払いについて**

期末配当金
3月31日の最終の株主名簿に記録された株主に対してお支払いいたします。

中間配当金
取締役会の決議によって中間配当を行う場合は、9月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対してお支払いいたします。

配当金のお受取りには、当行の預金口座への振込をご利用いただきますと、速くて便利です。
- 4. 基準日** 定時株主総会については3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
- 5. 公告方法** 電子公告による公告とし、当行ホームページ(<http://www.ncbank.co.jp>)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、西日本新聞と日本経済新聞に掲載いたします。
- 6. 株主名簿管理人
特別口座の
口座管理機関**

東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社

(1)事務取扱場所 福岡市中央区天神二丁目14番2号 日本証券代行株式会社 福岡支店
電話：福岡(092)741-0284

(2)お問合せ先 〒137-8650
東京都江東区塩浜二丁目8番18号 日本証券代行株式会社 代理人部
☎0120-707-843(フリーダイヤル)

(ご注意)株主様の住所変更、買増・買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

連結財務諸表

連結貸借対照表(平成24年3月31日現在)

(単位:百万円) 連結株主資本等変動計算書 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
現 金 預 け 金	283,453	預 金	6,529,519
コールローン及び買入手形	9,099	譲 渡 性 預 金	136,168
買 入 金 銭 債 権	27,962	コールマネー及び売渡手形	277,877
特 定 取 引 資 産	1,275	債券貸借取引受入担保金	72,160
金 銭 の 信 託	2,981	借 用 金	52,467
有 価 証 券	1,722,791	外 国 為 替	83
貸 出 金	5,389,886	社 債	88,300
外 国 為 替	7,665	そ の 他 負 債	51,773
そ の 他 資 産	46,708	退 職 給 付 引 当 金	10,851
有 形 固 定 資 産	120,029	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	152
無 形 固 定 資 産	3,950	睡眠預金払戻損失引当金	2,673
繰 延 税 金 資 産	43,019	偶 発 損 失 引 当 金	2,506
支 払 承 諾 見 返	53,308	特 別 法 上 の 引 当 金	0
貸 倒 引 当 金	△40,174	再評価に係る繰延税金負債	19,552
投 資 損 失 引 当 金	△1,021	支 払 承 諾	53,308
		負 債 の 部 合 計	7,297,395
		純 資 産 の 部	
		資 本 金	85,745
		資 本 剰 余 金	90,301
		利 益 剰 余 金	128,247
		自 己 株 式	△668
		(株主資本合計)	(303,625)
		その他有価証券評価差額金	11,032
		繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△0
		土 地 再 評 価 差 額 金	30,751
		(その他の包括利益累計額合計)	(41,783)
		少 数 株 主 持 分	28,132
		純 資 産 の 部 合 計	373,541
資 産 の 部 合 計	7,670,937	負債及び純資産の部合計	7,670,937

連結損益計算書 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(単位:百万円)

科 目	金 額
経 常 収 益	164,468
資 金 運 用 収 益	121,379
（うち貸出金利息）	(101,601)
（うち有価証券利息配当金）	(18,899)
信 託 報 酬	9
役 務 取 引 等 収 益	30,672
特 定 取 引 収 益	188
そ の 他 業 務 収 益	2,602
そ の 他 経 常 収 益	9,615
経 常 費 用	122,454
資 金 調 達 費 用	9,586
（うち預金利息）	(6,202)
役 務 取 引 等 費 用	9,331
そ の 他 業 務 費 用	706
営 業 経 費	85,175
そ の 他 経 常 費 用	17,654
経 常 利 益	42,013
特 別 利 益	147
特 別 損 失	816
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	41,344
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	993
法 人 税 等 調 整 額	20,816
法 人 税 等 合 計	21,810
少 数 株 主 損 益 調 整 前 当 期 純 利 益	19,534
少 数 株 主 利 益	1,561
当 期 純 利 益	17,972

[illegible]

財務諸表

貸借対照表 (平成24年3月31日現在)

科 目	金 額
資 産 の 部	
現 金 預 け 金	266,316
コ ー ル ロ ー ン	9,099
特 定 取 引 資 産	1,272
金 銭 の 信 託	2,981
有 価 証 券	1,728,211
貸 出 金	5,177,913
外 国 為 替	7,665
そ の 他 資 産	43,291
有 形 固 定 資 産	115,843
無 形 固 定 資 産	3,332
繰 延 税 金 資 産	40,305
支 払 承 諾 見 返	31,757
貸 倒 引 当 金	△29,866
投 資 損 失 引 当 金	△890
資 産 の 部 合 計	
7,397,235	

(単位:百万円)

科 目	金 額
負 債 の 部	
預 金	6,314,006
譲 渡 性 預 金	147,568
コ ー ル マ ネ ー	277,877
債券貸借取引受入担保金	72,160
借 用 金	64,351
外 国 為 替	83
社 債	88,300
そ の 他 負 債	28,213
退職給付引当金	9,841
睡眠預金払戻損失引当金	2,642
偶 発 損 失 引 当 金	2,434
再評価に係る繰延税金負債	19,096
支 払 承 諾	31,757
負 債 の 部 合 計	
7,058,335	
純 資 産 の 部	
資 本 金	85,745
資 本 剰 余 金	85,684
資 本 準 備 金	85,684
利 益 剰 余 金	126,869
利 益 準 備 金	61
そ の 他 利 益 剰 余 金	126,808
圧 縮 積 立 金	3
別 途 積 立 金	109,700
繰越利益剰余金	17,104
自 己 株 式	△668
(株主資本合計)	(297,630)
その他有価証券評価差額金	10,517
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△0
土 地 再 評 価 差 額 金	30,751
(評価・換算差額等合計)	(41,269)
純 資 産 の 部 合 計	
338,900	
負債及び純資産の部合計	
7,397,235	

損益計算書 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(単位:百万円)

科 目	金 額
経 常 収 益	
150,441	
資 金 運 用 収 益	
114,746	
(うち貸出金利息)	
(95,575)	
(うち有価証券利息配当金)	
(18,940)	
信 託 報 酬	9
役 務 取 引 等 収 益	24,380
特 定 取 引 収 益	63
そ の 他 業 務 収 益	2,103
そ の 他 経 常 収 益	9,138
経 常 費 用	
112,543	
資 金 調 達 費 用	
10,020	
(うち預金利息)	
(6,022)	
役 務 取 引 等 費 用	11,200
そ の 他 業 務 費 用	706
営 業 経 費	75,332
そ の 他 経 常 費 用	15,283
経 常 利 益	
37,897	
特 別 損 失	
718	
税 引 前 当 期 純 利 益	
37,179	
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	
66	
法 人 税 等 調 整 額	
20,019	
法 人 税 等 合 計	
20,086	
当 期 純 利 益	
17,092	

株主資本等変動計算書 (平成23年4月1日～平成24年3月31日) (単位:百万円)

科 目	金 額
株主資本	
資本金	
当期首残高	85,745
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	85,745
資本剰余金	
資本準備金	
当期首残高	85,684
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	85,684
資本剰余金合計	
当期首残高	85,684
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	85,684
利益剰余金	
利益準備金	
当期首残高	61
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	61
その他利益剰余金	
圧縮積立金	
当期首残高	3
当期変動額	△0
圧縮積立金の取崩	0
圧縮積立金の積立	0
当期変動額合計	0
当期末残高	3
別途積立金	
当期首残高	98,300
当期変動額	—
別途積立金の積立	11,400
当期変動額合計	11,400
当期末残高	109,700
繰越利益剰余金	
当期首残高	17,443
当期変動額	△5,963
剰余金の配当	0
圧縮積立金の取崩	△11,400
別途積立金の積立	17,092
当期純利益	△4
自己株式の処分	△64
土地再評価差額金の取崩	△339
当期変動額合計	17,104
当期末残高	115,809
利益剰余金合計	
当期首残高	—
当期変動額	△5,963
剰余金の配当	—
圧縮積立金の取崩	0
圧縮積立金の積立	—
別途積立金の積立	17,092
当期純利益	△4
自己株式の処分	△64
土地再評価差額金の取崩	11,060
当期変動額合計	126,869
当期末残高	286,577
自己株式	
当期首残高	△661
当期変動額	△16
自己株式の取得	9
自己株式の処分	△7
当期変動額合計	△668
当期末残高	286,577
株主資本合計	
当期首残高	△5,963
当期変動額	17,092
剰余金の配当	0
当期純利益	△16
圧縮積立金の積立	5
自己株式の取得	△64
自己株式の処分	11,053
土地再評価差額金の取崩	297,630
当期変動額合計	297,630
当期末残高	297,630
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	
当期首残高	3,000
当期変動額	7,517
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	7,517
当期変動額合計	10,517
当期末残高	10,517
繰延ヘッジ損益	
当期首残高	△0
当期変動額	0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	0
当期変動額合計	0
当期末残高	△0
土地再評価差額金	
当期首残高	27,989
当期変動額	2,762
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,762
当期変動額合計	30,751
当期末残高	30,751
評価・換算差額等合計	
当期首残高	30,989
当期変動額	10,280
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	10,280
当期変動額合計	41,269
当期末残高	41,269
純資産合計	
当期首残高	317,566
当期変動額	△5,963
剰余金の配当	17,092
当期純利益	0
圧縮積立金の積立	△16
自己株式の取得	5
自己株式の処分	△64
土地再評価差額金の取崩	10,280
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	21,333
当期変動額合計	338,900
当期末残高	338,900

次頁「コロがある」編はオレンジの表紙側よりご覧下さい